

# 介護福祉士国家試験実技試験免除のための 介護技術講習会 実施状況報告

関谷 栄子・森山千賀子・西方 規恵・土川 洋子

## 1. はじめに

介護福祉士資格取得者数は、平成18年9月において、54万人を超え（厚生労働省統計要覧）、量的整備は進んでいる。一方、高齢者や障害者が、家庭や地域の中で、障害や年齢にかかわらず、その人らしい安心のある生活が送れるよう、利用者個々のニーズに対応したサービスを提供し、その自立を支援するためには、サービスに携わる人材の質の向上を図っていくことが重要であり、サービスの中心的担い手である介護福祉士のさらなる質の向上が求められている。

このようなことから、厚生労働省は、平成15年6月に「介護福祉士試験の在り方等介護福祉士の質の向上に関する検討会」を設置し、平成16年6月に報告書がとりまとめられた。

検討会の報告書において、介護技術に関する介護技術講習会（以下講習会）を修了した者には、実技試験を免除する制度の導入が提言され、講習会が開始となった<sup>1)より引用</sup>。本学も、介護福祉士養成施設（以下養成校）として、介護福祉士の質の向上に寄与することを目的に、平成17年度講習会を開始した。

また、同時に現在の介護福祉士国家資格の在り方や養成校の教育課程の見直し等が現在活発に議論されている。したがって、本講習会は、過渡期における介護福祉士の質の向上に寄与する取り組みと考えられる。

本稿では、2005（平成17）年度、2006（平成18）年度の実施状況を報告するに留め、今年度（平成19年度）の実施状況と合わせて、追って3年分の状況を精査したい。

## 2. 講習会の目的

本講習会は、3年以上の介護実務経験者を対象

に、講義・演習を通じて、基本介護技術を再確認し、総合評価により修了認定された受講生は、介護福祉士国家試験実技試験が免除される講習会である。

32時間にわたり、介護過程の展開を踏まえた、基本介護技術を7項目の演習を通じて再確認し、介護技術を評価することによって、受講生の介護技術の向上を図ることが主な目的とされる。

## 3. スタッフ

- ・主任指導者 白梅学園短期大学  
福祉援助学科教授 学科長 関谷 栄子
- ・主任指導者 同 准教授 西方 規恵
- ・主任指導者 同 准教授 土川 洋子
- ・主任指導者 同 専攻科 福祉専攻  
准教授 森山 千賀子
- ・指導者 同 非常勤講師 落海 文子
- ・指導者 同 非常勤講師 伊藤 環
- ・指導者 同 非常勤講師 天野 洋子
- ・指導者 同 非常勤講師 龍 みち子
- ・指導者 同 非常勤講師 馬場 和加子
- ・指導者 同 非常勤講師 藤田 チイ子
- ・指導者 同 非常勤講師 空代 直美
- ・指導者 同 実習指導センター  
実習講師 柴生田 美里
- ・事務局 企画調整室 本田・高橋
- ・スーパーバイザー 同 非常勤講師  
関口 久美子

## 4. 講義・演習の方法

介護過程、コミュニケーション、移動、排泄、衣類の着脱、食事、入浴の7項目に関する講義と事例A（山田さん）、事例B（鈴木さん）の2事例の設定条件に対して、演習を行なった。（表1）

演習は実習室で、8人ずつのグループ（1ベッド4人）ごとに1人ずつ担当指導者が指導にあたった。

テキストは、本講習会用に財団法人 社会福祉振興・試験センターで作成されたものの他に、各演習の方法及び根拠が細部にわたり理解できるよう、サブテキストを独自に作成、準備し、併用し

た。

修了認定の判断根拠の一つとして、最終日の午後に総合評価を行うことになっており、総合評価を行なった。課題は、演習で行われる2事例に対する項目（移動・排泄・衣類の着脱・食事・入浴）の中から出題され、それまでの演習等の実施状況を含む総合評価として、修了認定を行なった。

表1 介護技術講習会 時程（2006（平成18）年度 例）

5月20日（土）1日目

受付9:10～ F12講義室

時間	講習項目	時間数	担当教員
9:30	開会式・オリエンテーション（F12）	0.5	土川
10:00	介護過程の展開（F12） ○ 介護過程、目標 ○ 4日目の「介護過程の展開」の演習で使用する事例について	2.0	関谷
12:00	コミュニケーション講義（F12）	1.0	関谷
13:00	昼食・休憩（F12）		
14:00	移動の介護（F12&実習室） ○ コミュニケーション演習も兼ねる ○ 主任指導者による講義（1.0）および演習（3.0）	4.0 +1.5	土川
19:30	終了	9.0	

5月21日（日）2日目

時間	講習項目	時間数	担当教員
9:30	入浴の介護（F12&実習室） ○ 主任指導者による講義（1.0）および演習（実習室）	4.0	西方
13:30	休憩		
14:30	衣類の着脱の介護（F12&実習室） ○ 主任指導者による講義（1.0）および演習（実習室）	4.0	西方
18:30	終了	8.0	

5月27日（土）3日目

時間	講習項目	時間数	担当教員
9:30	食事の介護（F12&実習室） ○ 主任指導者による講義（1.0）および演習（実習室）	4.0	土川
13:30	休憩		
14:30	排泄等の介護（F12&実習室） ○ 主任指導者による講義（1.0）および演習（実習室）	4.0	土川
18:30	終了	8.0	

5月28日(日)4日目

時間	講習項目	時間数	担当教員
9:30	介護過程の展開 (F棟) ○「事例」についてグループ単位でケアカンファレンスを行う。	3.5	土川
13:00	総合評価 (F12) ○主任指導者によるオリエンテーション	0.5	土川
13:30	休憩		
14:30	総合評価 (F棟) ○指導者による総合評価の実施 ○主任指導者および指導者による修了認定結果の決定 ○アンケート回答等 修了認定 ○主任指導者及び指導者による修了認定の協議の実施 ○実施者による修了認定の可否の決定 ○主任指導者による全受講者に対する講評 ○介護技術講習修了認定証明書の交付 (後日)	3.0	土川 (全員)
17:30	終了	7.0	

実技担当：関口先生，藤田先生，龍先生，伊藤先生，馬場先生，柴生田先生

## 5. 実施状況

### 1) 募集状況

講習会実施要綱を遵守し，1回の講習会の受講者40名で，年3回実施した。2005（平成17）年度は，講習会の受付を電話で行ない，回線がオーバーヒートし，一時不通となる事態が発生し，受講生にご迷惑をおかけした。これを踏まえて，2006（平成18）年度は，はがきによる受付とし，抽選するという方法に切り替えた。

### 2) 受講生の状況

2005（平成17）年度，女性100名，男性20名，平均年齢46.5歳。

2006（平成18）年度，女性103名，男性17名，平均年齢46.6歳。

受講生の介護経験年数は，2005（平成17）年度は，3～5年が最も多く，2006（平成18）年度は，6～10年が最も多かった。（表2）

表2 受講生の介護経験年数

年度・月 介護歴	05（平成17）年				06（平成18）年			
	5月	7月	9月	合計	5月	7月	9月	合計
3年未満	12	2	2	16	6	0	0	6
3～5年	24	4	30	58	19	2	1	22
6～10年	4	27	6	37	13	27	26	66
10～15年	0	6	1	7	1	8	10	19
16年以上	0	1	1	2	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	1	2	4	7
合計	40	40	40	120	40	39	41	120

この講習会を受講した動機については，介護福祉士国家試験実技試験では，緊張して実力が発揮できないと感じている受講生が多く（表3），ま

た，国家資格を取得することでキャリアアップを図ろうと考えている（表4）。

表3 介護技術講習会を受講した動機（複数回答 n=120）

介護福祉士国家試験は緊張して実力が発揮できない	70
介護福祉士国家試験の実技試験は難しい	39
介護福祉士国家試験の実技試験の実技試験に落ちた	18
その他	20

表4 介護福祉士国家資格を取得する動機（複数回答 n=120）

職場からの要請	24
キャリアアップ	95
待遇改善	8
その他	18

### 6. 受講生の終了時アンケート結果

各回の講習会終了時に無記名アンケートを実施し、講習会の満足度を確認し、要望や意見収集を行なった。このアンケートを評価し、改善が必要な点は次回の講習会に修正した。表5は、そのアンケートの主な内容を列挙したものである。（2006（平成18）年度分）

概ね、満足度が高いことがわかるが、費用につ

いては、「妥当だと思うか」の設問で、「そう思わない9名（7.5%）」「ややそう思わない13名（10.8%）」とやや不満足な様子が伺える。本講習会費用は、介護技術講習会実施ガイドラインで示された標準額7万円で行なったが、東京都内の講習会実施状況を見ると、講習会費用は5万円台から7万円台まで分布していた。（社団法人日本介護福祉士養成施設協会公式サイトより）

表5 アンケート回答内容

#### 1. 2つの事例の情報量は指示された技術を行うために十分でしたか。〔n=120(%)〕

情報量 講習月	無回答	ややそう 思わない	どちらとも いえない	ややそう 思う	そう思う	合計
5月	0	0	2(1.7)	9(7.5)	29(24.2)	40(33.3)
7月	2(1.7)	1(0.8)	0	6(5.0)	30(25.0)	39(32.5)
9月	1(0.8)	1(0.8)	4(3.3)	12(10.0)	23(19.2)	41(34.2)
合計	3(2.5)	2(1.7)	6(5.0)	27(22.5)	82(68.3)	120(100.0)

#### 2. 講義内容は、指示された技術を行うために十分でしたか。〔n=120(%)〕

講義内容 講習月	どちらとも いえない	ややそう 思う	そう 思う	合計
5月	1(0.8)	14(11.7)	25(20.8)	40(33.3)
7月	1(0.8)	8(6.7)	30(25.0)	39(32.5)
9月	4(3.3)	17(14.2)	20(16.7)	41(34.2)
合計	6(5.0)	39(32.5)	75(62.5)	120(100.0)

3. テキストは、使いやすいものでしたか。 [n=120 (%)]

テキスト 講習月	無回答	ややそう 思わない	どちらとも いえない	ややそう 思　　う	そう思う	合　計
5月	1 (0.8)	1 (0.8)	5 (4.2)	8 (6.7)	25 (20.8)	40 (33.3)
7月	0	0	3 (2.5)	6 (5.0)	30 (25.0)	39 (32.5)
9月	0	0	9 (7.5)	15 (12.5)	17 (14.2)	41 (34.2)
合　計	1 (0.8)	1 (0.8)	17 (14.2)	29 (24.2)	72 (60.0)	120 (100.0)

4. 講義時間は、指示された技術を行うために十分でしたか。 [n=120 (%)]

講義時間 講習月	無回答	そう思わ ない	ややそう 思わない	どちらとも いえない	ややそう 思　　う	そう思う	合　計
5月	1 (0.8)	1 (0.8)	3 (2.5)	5 (4.2)	8 (6.7)	22 (18.3)	40 (33.3)
7月	0	1 (0.8)	1 (0.8)	5 (4.2)	8 (6.7)	24 (20.0)	39 (32.5)
9月	1 (0.8%)	1 (0.8)	5 (4.2)	6 (5.0)	17 (14.2)	11 (9.2)	41 (34.2)
合　計	2 (1.7)	3 (2.5)	9 (7.5)	16 (13.3)	33 (27.5)	57 (47.5)	120 (100.0)

5. 演習内容は、指示された技術を行うために十分でしたか。 [n=120 (%)]

演習内容 講習月	そう思わ ない	ややそう 思わない	どちらとも いえない	ややそう 思　　う	そう思う	合　計
5月	1 (0.8)	2 (1.7)	2 (1.7)	12 (10.0)	23 (19.2)	40 (33.3)
7月	1 (0.8)	4 (3.3)	4 (3.3)	5 (4.2)	25 (20.8)	39 (32.5)
9月	1 (0.8)	8 (6.7)	4 (3.3)	14 (11.7)	14 (11.7)	41 (34.2)
合　計	3 (2.5)	14 (11.7)	10 (8.3)	31 (25.8)	62 (51.7)	120 (100.0)

6. 演習時間は、指示された技術を行うために十分でしたか。 [n=120 (%)]

演習時間 講習月	無回答	そう思わ ない	ややそう 思わない	どちらとも いえない	ややそう 思　　う	そう思う	合　計
5月	0	3 (2.5)	4 (3.3)	3 (2.5)	15 (12.5)	15 (12.5)	40 (33.3)
7月	1 (0.8)	0	7 (5.8)	6 (5.0)	8 (6.7)	17 (14.2)	39 (32.5)
9月	0	3 (2.5)	10 (8.3)	6 (5.0)	13 (10.8)	9 (7.5)	41 (34.2)
合　計	1 (0.8)	6 (5.0)	21 (17.5)	15 (12.5)	36 (30.0)	41 (34.2)	120 (100.0)

7. 演習のグループメンバーの配置は、満足のいくものでしたか。 [n=120 (%)]

メンバー 講習月	無回答	そう思わ ない	ややそう 思わない	どちらとも いえない	ややそう 思　　う	そう思う	合　計
5月	1 (0.8)	0	0	1 (0.8)	8 (6.7)	30 (25.0)	40 (33.3)
7月	0	1 (0.8)	1 (0.8)	3 (2.5)	7 (5.8)	27 (22.5)	39 (32.5)
9月	0	0	0	3 (2.5)	16 (13.3)	22 (18.3)	41 (34.2)
合　計	1 (0.8)	1 (0.8)	1 (0.8)	7 (5.8)	31 (25.8)	79 (65.8)	120 (100.0)

8. 総合評価の方法は妥当でしたか。〔n=120 (%)〕

総合評価 講習月	無回答	そう 思わ ない	どちらとも いえない	やや そう 思 う	そう 思 う	合 計
5月	1 (0.8)	0	5 (4.2)	6 (5.0)	28 (23.3)	40 (33.3)
7月	3 (2.5)	1 (0.8)	1 (0.8)	7 (5.8)	27 (22.5)	39 (32.5)
9月	1 (0.8)	0	5 (4.2)	14 (11.7)	21 (17.5)	41 (34.2)
合計	5 (4.2)	1 (0.8)	11 (9.2)	27 (22.5)	76 (63.3)	120 (100.0)

9. 講習に必要な設備は十分でしたか。〔n=120 (%)〕

講習設備 講習月	無回答	やや そう 思 わ ない	どちらとも いえない	やや そう 思 う	そう 思 う	合 計
5月	0	2 (1.7)	4 (3.3)	10 (8.3)	24 (20.0)	40 (33.3)
7月	0	1 (0.8)	4 (3.3)	5 (4.2)	29 (24.2)	39 (32.5)
9月	1 (0.8)	1 (0.8)	6 (5.0)	11 (9.2)	22 (18.3)	41 (34.2)
合計	1 (0.8)	4 (3.3)	14 (11.7)	26 (21.7)	75 (62.5)	120 (100.0)

10. 実技（実習室）の設備は十分でしたか。〔n=120 (%)〕

実技室 講習月	やや そう 思 わ ない	どちらとも いえない	やや そう 思 う	そう 思 う	合 計
5月	2 (1.7)	5 (4.2)	10 (8.3)	23 (19.2)	40 (33.3)
7月	0	4 (3.3)	6 (5.0)	29 (24.2)	39 (32.5)
9月	4 (3.3)	6 (5.0)	10 (8.3)	21 (17.5)	41 (34.2)
合計	6 (5.0)	15 (12.5)	26 (21.7)	73 (60.8)	120 (100.0)

11. 講師、指導者の説明、対応は適切でしたか。〔n=120 (%)〕

講師対応 講習月	無回答	やや そう 思 わ ない	どちらとも いえない	やや そう 思 う	そう 思 う	合 計
5月	0	1 (0.8)	0	7 (5.8)	32 (26.7)	40 (33.3)
7月	0	0	0	2 (1.7)	37 (30.8)	39 (32.5)
9月	2 (1.7)	0	1 (0.8)	9 (7.5)	29 (24.2)	41 (34.2)
合計	2 (1.7)	1 (0.8)	1 (0.8)	18 (15.0)	98 (81.7)	120 (100.0)

12. 根拠に基づいた「介護技術」を行うという講習方法の一連の流れは理解できましたか。〔n=120 (%)〕

流れ理解 講習月	無回答	やや そう 思 わ ない	どちらとも いえない	やや そう 思 う	そう 思 う	合 計
5月	0	0	1 (0.8)	6 (5.0)	33 (27.5)	40 (33.3)
7月	0	0	0	3 (2.5)	36 (30.0)	39 (32.5)
9月	1 (0.8)	1 (0.8)	3 (2.5)	10 (8.3)	26 (21.7)	41 (34.2)
合計	1 (0.8)	1 (0.8)	4 (3.3)	19 (15.8)	95 (79.2)	120 (100.0)

13. この技術講習を受講することで、実技試験免除されることは妥当であると思いますか。 [n=120 (%)]

実技免除講習月	そう思わない	ややそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	合計
5月	0	0	2 (1.7)	4 (3.3)	34 (28.3)	40 (33.3)
7月	1 (0.8)	0 (0.8)	6 (5.0)	4 (3.3)	28 (23.3)	39 (32.5)
9月	0	1 (0.8)	6 (5.0)	11 (9.2)	23 (19.2)	41 (34.2)
合計	1 (0.8)	1 (0.8)	14 (11.7)	19 (15.8)	85 (70.8)	120 (100.0)

14. 講習費用は妥当であると思いますか。 [n=120 (%)]

講習費用講習月	そう思わない	ややそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	合計
5月	3 (2.5)	6 (5.0)	14 (11.7)	10 (8.3)	7 (5.8)	40 (33.3)
7月	3 (2.5)	3 (2.5)	7 (5.8)	12 (10.0)	14 (11.7)	39 (32.5)
9月	3 (2.5)	4 (3.3)	15 (12.5)	7 (5.8)	12 (10.0)	41 (34.2)
合計	9 (7.5)	13 (10.8)	36 (30.0)	29 (24.2)	33 (27.5)	120 (100.0)

15. 講習時間 (32 時間) は妥当であると思いますか。 [n=120 (%)]

講習時間講習月	そう思わない	ややそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	合計
5月	3 (2.5)	2 (1.7)	7 (5.8)	6 (5.0)	22 (18.3)	40 (33.3)
7月	2 (1.7)	2 (1.7)	10 (8.3)	13 (10.8)	12 (10.0)	39 (32.5)
9月	3 (2.5)	2 (1.7)	9 (7.5)	12 (10.0)	15 (12.5)	41 (34.2)
合計	8 (6.7)	6 (5.0)	26 (21.7)	31 (25.8)	49 (40.8)	120 (100.0)

16. 講習日程 (土・日・土・日) は妥当であると思いますか。 [n=120 (%)]

講習日程講習月	無回答	そう思わない	ややそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	合計
5月	0	1 (0.8)	1 (0.8)	8 (6.7)	4 (3.3)	26 (21.7)	40 (33.3)
7月	0	0	1 (0.8)	9 (7.5)	4 (3.3)	25 (20.8)	39 (32.5)
9月	1 (0.8)	1 (0.8)	2 (1.7)	5 (4.2)	12 (10.0)	20 (16.7)	41 (34.2)
合計	1 (0.8)	2 (1.7)	4 (3.3)	22 (18.3)	20 (16.7)	71 (59.2)	120 (100.0)

17. 講習終了後の実習室を開放し、練習時間を設けていますが、十分でしたか。 [n=120 (%)]

自主練習講習月	無回答	そう思わない	ややそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	合計
5月	0	3 (2.5)	2 (1.7)	3 (2.5)	8 (6.7)	24 (20.0)	40 (33.3)
7月	0	0	2 (1.7)	5 (4.2)	8 (6.7)	24 (20.0)	39 (32.5)
9月	1 (0.8)	1 (0.8)	0	7 (5.8)	12 (10.0)	20 (16.7)	41 (34.2)
合計	1 (0.8)	4 (3.3)	4 (3.3)	15 (12.5)	28 (23.3)	68 (56.7)	120 (100.0)

## 7. まとめ

周知のとおり、介護のニーズは高まり、資格化のニーズも高まっている。本講習会の果たす役割は大きいと考えられるが、本稿では、2年分の実施状況の報告を行うに留まった。具体的な実施内容については、今年度（2007（平成19）年度）も実施した上で、3年間の比較検討を行ない、改めて精査、報告したいと考えている。

## 8. 資料

- 1) 介護福祉士国家試験・実技試験免除のための介護技術講習テキスト（2005），財団法人 社会福祉振興・試験センター 発行。
- 2) 介護福祉士国家試験・実技試験免除のための介護技術講習指導マニュアル（2005），財団法人 社会福祉振興・試験センター 発行。